

開催日時：平成20年10月28日（火） 10:00～12:30

場 所：ドーンセンター5階 特別会議室

出席委員：池淵委員長, 中川委員, 弘本委員, 堀野委員, 増田委員, 山下委員

1. 議 題

- (1) 議事概要確認
- (2) 一級河川淀川水系神崎川下流ブロック流域の概要及び整備の目標について
- (3) 一級河川淀川水系猪名川下流ブロック流域の概要について

2. 概 要

○議事概要確認

(まとめ)

前回委員会議事概要(案)について確認した。委員会の了解を得て、議事概要となり、ホームページに掲載することになった。

○一級河川淀川水系神崎川下流ブロック流域の概要及び整備の目標について

(まとめ)

一級河川淀川水系神崎川下流ブロック流域の概要及び整備の目標について説明した。委員会での指摘事項を踏まえ、引き続き審議することとなった。

●「流域の概要」について

(委 員) 地域の防災情報の提供などについての内容を盛り込むべき。

(委 員) 水害について、内水・外水別に整理してほしい。

(事務局) 現在、内水の資料が入っていないので、資料を追加の上、整理する。

●「整備の目標」について

(委 員) 洪水到達時間の9時間の決定根拠について整理しておくべき。

(委 員) 引き伸ばす9時間の時間帯の考え方を教えて欲しい。

(事務局) 整理して、再度説明する。

(委 員) 9時間雨量を1/200に引き伸ばした際、24時間の雨量が、1/200の日雨量を超えた場合どのように対応するのか。

(事務局) 検討の結果を見て、対応を検討する。

(委 員) 当該ブロックにおいて9時間の洪水到達時間を設定するのであれば、既に策定している上流の神崎川ブロックについても再検証を行う必要があるのではないか。

(事務局) 神崎川ブロックにおいても9時間で検討を行う予定。

(委員) 基準点の神崎橋は感潮区間で流量を正確に測れない可能性があることから、特性曲線法の妥当性も含め高水の検討には工夫が必要。

(委員) 今回の指摘事項を踏まえ、引き続き審議をつづけることとする。

○一級河川淀川水系猪名川下流ブロック流域の概要について

(まとめ)

一級河川淀川水系猪名川下流ブロック流域の概要について説明した。委員会での指摘事項を踏まえ、引き続き審議することとなった。

(委員) 絶滅危惧種だけでなく、外来種等についても記載すべき。

(委員) 北摂山系は日本の昆虫三大宝庫に位置づけられているので、そのあたりについて記載すべき。

(委員) 商店数の減少の理由や空港関連の内容など追記すべき。

(委員) 景観に対して先進的な取組みを行っている地域であるので、その点に触れるべき。

(委員) 森林保全を図るエリア、自然公園のエリア等を記載すべき。

(委員) 山の植生(人工林、放置林、二次林など)については、流出率に影響することから、少し詳細に記載すべき。

(委員) 豊中市は全城市街化区域であり農用地の担保力が弱いため、土地利用の考え方については検討を要する。

(委員) 近年の集中豪雨についても記載すべき。

(委員) 余野川ダムの経緯等について記載すべき。

(事務局) 現在の状況、大阪府としての見解、ダムを見込まない場合の整備方針等について補足する。

(委員) 本川の箕面川が1/10レベルの整備にもかかわらず、支川の石澄川が1/100レベルの整備を行っている理由は何か。

(事務局) 整理して、次回説明する。

(委員) 今回の指摘事項を踏まえ、引き続き審議をつづけることとする。